

まち・ひと・しごと創生 総合戦略  
第1期（平成27年度～令和2年度）

主要プロジェクト

**<<外部評価>>**

（ 評価 及び 意見 ）

令和2年9月

## 外部検証（評価）

	プロジェクト名	総合評価	委員評価	
			A	Z
1	町営学習教室「いいで希望塾」	A	16	1
2	地域づくり活動の推進	A	12	6
3	母子保健コーディネーターの配置	A	9	5
4	地域の拠点づくりと新たな地域支えあい活動等の創造	A	16	1
5	移住や定住の推進	A	15	3
6	インバウンド事業	A	13	3
7	食を活かした取り組み	A	9	5
8	帰郷希望女子応援プロジェクト	A	14	2
9	飯豊・農の未来事業	A	8	4
10	食育・地産地消の推進	A	14	2
11	山形大学 xEV 飯豊研究センター	A	9	8
12	高円寺純情コミュニティカフェ&ショップ IIIDE	A	9	5
13	なかつがわ農家民宿	—	—	—
14	自然・文化と最先端科学技術が融合するまちづくり	A	10	7
15	認定こども園の推進	A	9	4
16	教育の機会充実への取り組み	A	13	1
17	音楽からのまちづくり	A	12	4
18	歴史文化資源の継承と活用	A	13	2
19	世代交流に関する取り組み	A	13	1
20	障がい者の就労促進	A	9	3
21	子育て世帯の経済的負担軽減	A	16	2
22	健康・元気いいで町ポイント事業	A	14	2
23	働くお母さん応援事業	A	13	3
24	認知症高齢者の支援	A	13	0
25	いいでめざみの里応援寄附金	A	9	4
26	農都交流事業	A	11	2
27	3セク等のリノベーションの取り組み	—	—	—
28	中小企業振興支援	A	10	4
29	こだわりの産業を創る工業基盤の強化	A	9	5

## 外部検証（意見）

バケツル	プロジェクト名	意見
1	町営学習教室 「いいで希望塾」	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 課外学習の機会の少ない飯豊町では貴重な事業であり成果も出ている</li> <li>✓ オンライン化は検討できないか</li> <li>✓ 参加率が低下していることが残念。要因を分析し対応を期待する</li> <li>✓ 町や地域行事と重ならない工夫が必要である</li> <li>✓ 保護者の考え、ニーズについて調査してほしい</li> <li>✓ 5年間継続しているということは需要があるということ</li> </ul>
2	地域づくり 活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 「地域」単位で活動できるほど人口が少ないのではない。「地域」の見直しが必要ではないか</li> <li>✓ 地域活性化プロジェクトに期待する。まちづくりセンターの方向性については検討が必要である</li> <li>✓ 地域ごとに温度差があるならば、枠を使いきれない地区への支援や指導をしてほしい</li> <li>✓ 各地区の取り組みについては、是非見える化をお願いしたい</li> <li>✓ 若者や女性の参画を促すにはイベントや行事を工夫し、興味を持っていただくことが必要ではないか</li> <li>✓ 地域づくりでは、従来型の事業と新たな創意工夫をうまく調整していくことが重要である</li> <li>✓ 地域まちづくりセンターの位置付けや役割がイメージできない</li> <li>✓ 地域づくりに若者や女性の意見を反映させるには、まず若者や女性が忌憚なく発言できる場の構築が望まれる</li> <li>✓ 地域づくり活動が逆に住民の負担になっている部分はないか</li> </ul>
3	母子保健 コーディネーター の配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 町単独で行うには対象者が少ない。県や置賜地域での検討はできないか</li> <li>✓ 発達障害ではなく、愛着障害等の家庭の問題を含んでいないか</li> <li>✓ 母親にとって、安心して生み育てる環境づくりが重要であり、環境を整えることで出生率の向上も期待できるのではないか</li> <li>✓ 他市町村の取り組み事例について知りたい</li> </ul>
4	地域の 拠点づくりと 新たな地域 支えあい活動 等の創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 実施内容とともに参加者が増加するなど評価できる</li> <li>✓ 介護予防活動については評価できる。今後は除雪支援や買い物支援の充実化が必要と感じる</li> <li>✓ 強制させない、無理をさせないことは良いことと感じる</li> <li>✓ 高齢者支援はボランティアでなくビジネス化すべき</li> </ul>
5	移住や定住の 推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新型コロナ禍で今後、田舎暮らしが再評価される可能性がある。8「帰郷希望女子応援プロジェクト」と統合でも良いのではないか</li> <li>✓ 移住世帯数がどのように推移しているか知りたい</li> </ul>

バケツ	プロジェクト名	意見
		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 空き家バンクのさらなる活用に期待したい</li> <li>✓ 近隣市町と比較して地域おこし協力隊が少ない。多くの協力隊を配置していただくことも一案ではないか</li> <li>✓ エコタウン樺と添川住宅団地は期待に反し、コロナの影響もあると思うが申込者が少ない状況のようだ。マーケティング調査は実施したのか。今後の戦略や働きかけを期待する</li> <li>✓ 添川住宅団地が完成したことは、児童センターや添川小の統合は当面ないととらえて良いのか</li> <li>✓ 町のプロモーション映像を活用し、さらにアピールできないか</li> <li>✓ 移住・定住の推進が効果的な人口減少対策になっているかは疑問がある</li> </ul>
6	インバウンド事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新型コロナ禍の影響が大きい</li> <li>✓ ウェブサイトによる情報発信について、今後どの程度力をいれていく予定か</li> <li>✓ コロナ後の台湾以外のインバウンド需要を見越して、英語によるアテンドに対応すべきである</li> <li>✓ 観光協会の仕事ぶりが素晴らしい。今後行政と力を合わせて新たな戦略に期待する</li> <li>✓ 国内客を含めた観光政策の再構築が必要ではないか</li> <li>✓ 雪に頼る集客は小雪やアフターコロナ下では難しい。別の魅力をアピールしたい</li> </ul>
7	食を活かした 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 指標としている「農業産出額」が未公表なのはなぜか</li> <li>✓ 6次産品化の商品について、どのように販路を確保していくかが課題と考える</li> <li>✓ マーケティングと販売促進がポイント。町民に知られていない商品は、町外の方は当然知る由もない</li> <li>✓ 町の特産品・加工品としてインパクトの強い商品開発を期待したい</li> </ul>
8	帰郷希望女子 応援プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 新型コロナ禍で今後、田舎暮らしが再評価される可能性がある。5「移住や定住の推進」と統合でも良いのではないか</li> <li>✓ ツアー参加者が年々増加し、交流人口につながっていくことは評価できる</li> </ul>
9	飯豊・農の 未来事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 評価指標や事業費を示されないと評価できない</li> <li>✓ 今後の米需給の見通しからすれば、稲作以外の生産検討が急務である</li> <li>✓ SDGs を意識するならバックキャストの視点が弱い。具体的にどういった農業の未来像を掲げ、そのために何をすべきなのかを示してほしい</li> <li>✓ 農業従事者の高齢化、離農者が増加しているなか、若手農家の育成は急務であり、引き続き取り組んでほしい</li> </ul>

バケツル	プロジェクト名	意見
10	食育・ 地産地消の 推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 食育教育の意味合いからも、学校給食での利用率を高めてほしい</li> <li>✓ 世界的に「食」へ重要性がますます増している</li> </ul>
11	山形大学 XEV 飯豊 研究センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 技術そのものの先行きが見通せない</li> <li>✓ 研究試験段階から雇用の創出が期待される段階まで進展したことは好ましいが、次世代電池の開発による陳腐化が危惧される</li> <li>✓ すでに研究センターとしての体をなしていないのではとの疑念もあり、今後事業の中止や撤退も懸念される。経過や今後の方針など、具体的でクリアでオープンな説明が必須である</li> <li>✓ 研究センターが何を指すのか、具体的な取り組み内容、進捗などが住民には良く見えてこない</li> <li>✓ ごたごたがあったが、専門職大学の開学なども控えており、事業連携と存続に向けて頑張してほしい</li> <li>✓ 専門職大学を含めて今後が心配である</li> <li>✓ 住民の理解は得られていない</li> </ul>
12	高円寺純情 コミュニティ カフェ&ショップ IIDE	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ なぜ高円寺か。山手線沿線か内側ではだめか</li> <li>✓ 杉並区と友好都市協定を締結し、より一層の交流を図ってほしいか</li> <li>✓ 都内の情報発信拠点であり、重要な役割も担っている。より一層、力を注いでほしい</li> <li>✓ 一定の窓口機能を有しているようなので今後に期待したい</li> </ul>
13	なかつがわ 農家民宿	<<評価対象外>>
14	自然・文化と 最先端 科学技術が 融合する まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ プロジェクトの根幹となっている技術そのものの先行きが見通せない</li> <li>✓ 課題が多い</li> <li>✓ ベンチャー企業を創出するため、起業家を育てる対策を講じてほしい</li> <li>✓ 屋台村についてはハード整備が先行し、事前のマーケティングを実施したのか疑問。事業者の運営や事業者間のがバランスにも疑問符がつく。今後の奮起に期待したい</li> <li>✓ 複数店舗が入居する屋台村の店舗運営は見直す必要がある。きちんとした運営ができる方が入るべき</li> <li>✓ 住民の理解は得られていない</li> </ul>
15	認定こども園 の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 事業目的が少数幼児施設の閉園という位置付けで良いのか</li> <li>✓ 保育ニーズの把握が必要ではないか</li> <li>✓ 2園化というが、わくわくこども園の乳児部と幼児部は別棟のままなのか</li> <li>✓ 年間出生数が40人を下回る中、2園化は避けて通れない。スピード感をもって取り組</li> </ul>

バケツ	プロジェクト名	意見
		<p>んでほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ なぜ認定こども園化が必要なのか、統合と合わせて理由を示してほしい</li> <li>✓ 多様な子どもに対応できるようにすることが課題である</li> </ul>
16	教育の 機会充実への 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ インクルーシブ教育と英語教育の導入が同じ事業で良いのか</li> <li>✓ 児童・生徒へのきめ細やかな相談体制の構築を期待したい</li> <li>✓ 相談件数が増加しており、スクールカウンセラーの増員が必要ではないか</li> <li>✓ 就学前と就学後のきめ細やかな連携が必要である</li> </ul>
17	音楽からの まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 事業当初の目的や一定の効果は得た。新たな事業への改組が必要ではないか</li> <li>✓ めざまの里カントートの参加者が町めぐり企画を不評としたことは残念だ</li> </ul>
18	歴史文化 資源の継承と 活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 実績は大いに評価できる</li> <li>✓ 町の歴史や文化を町民自身が理解し、愛着を育むことが資源の保全につながる</li> </ul>
19	世代交流に 関する取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 各校の活動推進員が子どもたちの地域参画を図っていただけることは評価したい</li> <li>✓ 必要な取り組みだが負担とを感じる部分もあり、必要な行事のみを残していけば良い</li> </ul>
20	障がい者の 就労促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 実施内容については、5年間の取り組みが分かるように記載してほしい（R元年度と同一内容）</li> <li>✓ 今後、重要性はさらに増していくのではないか</li> <li>✓ 障がいを持つ方が就労できる事業所を増やしていく必要がある</li> <li>✓ 本人が生き生きと働ける多様な場を増やしほしい</li> </ul>
21	子育て世帯の 経済的 負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 負担軽減により出生率の向上が期待できる</li> <li>✓ 人口減少対策としては有効。大胆な政策で人口を増やしてほしい</li> <li>✓ きめ細やかで手厚い支援をアピールし、転出抑制や転入増につなげてほしい</li> </ul>
22	健康・ 元気いいで 町ポイント事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 誰もが参加しやすくするため、場所を選ばない運動やスポーツなどを該当させてはどうか</li> <li>✓ 老若男女問わず、幅広い年代の方に浸透することを期待したい</li> </ul>
23	働くお母さん 応援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 母親のみならず、子育てをされる方への幅広い支援が必要である</li> <li>✓ 町のみならず、民間で利用できるものがないか</li> <li>✓ 5年間で充実し、進展を見せたと感じる</li> </ul>
24	認知症高齢者	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 実施内容とともに参加者が増加するなど評価できる</li> </ul>



バケツ	プロジェクト名	意見
	の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 実施内容については、5年間の取り組みが分かるように記載してほしい（R元年度と同一内容）</li> <li>✓ 認知症の早期発見者は地域住民であり、地域に見守りや支えあう体制を構築する必要がある</li> </ul>
25	いいで めざみの里 応援寄附金	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ポータルサイト以外の手法はないのか</li> <li>✓ 創意工夫により寄付額の拡大に努めてほしい</li> <li>✓ 高額な返礼品の設定が本来のふるさと納税の趣旨に合っているか疑問。ふるさとに住む家族の見守り、空き家やお墓の管理、草刈りなどソフト面の返礼品の設定はいかがか</li> </ul>
26	農都交流事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 継続した来町につながる取り組みに期待する</li> </ul>
27	第3セクター等の リノベーションの 取り組み	<<評価対象外>>
28	中小企業 振興支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 支援対象企業に倒産がないのは評価できる。採択事業を広く紹介するも必要である</li> <li>✓ 地域の中小企業を支援することは身近な雇用の場を確保することであり、定住にも結びつくものである</li> <li>✓ 補助申請者に対する審査員の評価は当然。より厳しい審査基準の必要性を感じる</li> </ul>
29	こだわりの産業を 創る工業基盤の 強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 技術そのものの先行きが見通せない</li> <li>✓ 若い女性が働くことのできる産業の創出を検討してほしい</li> <li>✓ 若者の町外転出に歯止めがかかり、町外からの転入が増えることに期待したい</li> <li>✓ 改革破綻の様相を呈している。今後の戦略について示してほしい</li> <li>✓ デンソー山形の拡充は大きな成果と感じる</li> </ul>